

NORITSU

face the NEXT™

決算補足説明資料

2020年12月期 通期
(2020年4-12月)

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証1部）

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

■ 事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用权資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。

連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

1 2020年12月期 通期連結業績（9か月）

2 2021年12月期 通期連結業績予想

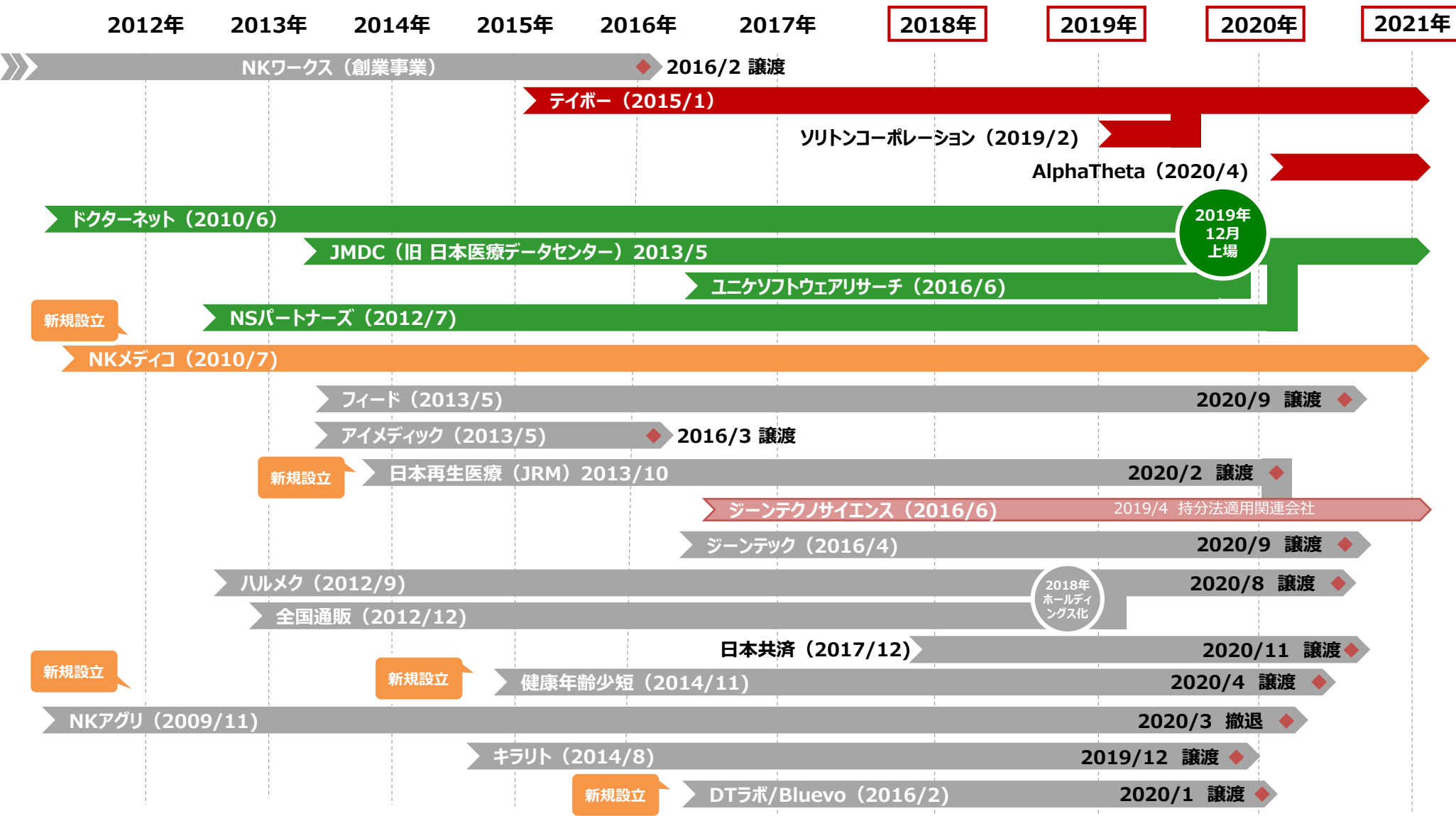
3 APPENDIX

主な変更点について

当期からの主な変更点は下記のとおりです。

変更点	変更前	変更後
① 決算期	毎年3月31日	毎年12月31日
② 事業セグメント	ものづくり、ヘルスケア、シニア・ライフ など	ものづくり (部品・材料、音響機器関連) ヘルスケア (医療情報、医療検査) <small>※事業ポートフォリオを再編</small>

参考) 事業ポートフォリオの再編



2020年12月期通期連結業績 ハイライト

- ・ 売上収益、営業利益は、AlphaThetaのグループ入りにより伸長。予想に対しても超過で着地
- ・ 親会社の所有者に帰属する当期利益は、営業利益の増加に加えて、事業ポートフォリオ再編の効果等により大幅増益

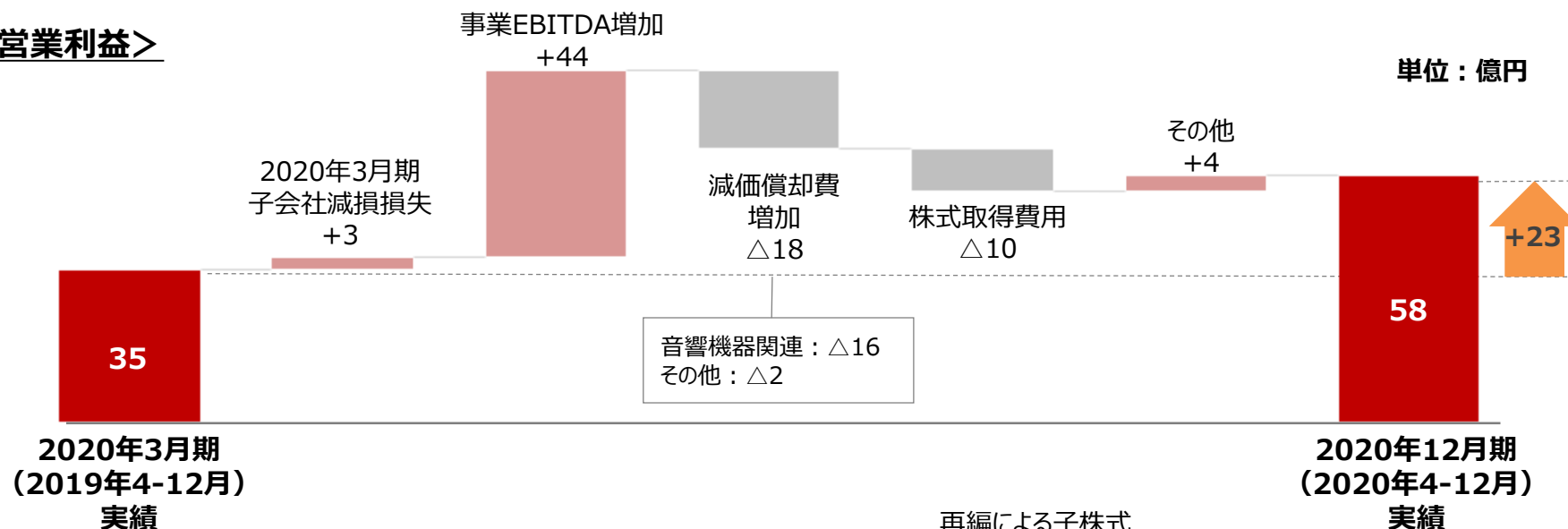
単位：百万円	2020年3月期 (2019年4-12月) 実績	2020年12月期 (2020年4-12月) 実績	対前年同期	
			増減額	増減率
売上収益	19,065	41,148	+22,083	+115.8%
事業EBITDA	5,063	9,487	+4,424	+87.4%
事業EBITDAマージン	26.6%	23.1%		
営業利益	3,580	5,825	+2,244	+62.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,077	9,899	+8,821	+818.7%
為替レート*1 (平均)	米ドル	-	106.1円	-
	ユーロ	-	122.4円	-
為替レート*1 (期末)	米ドル	-	103.5円	-
	ユーロ	-	127.0円	-

*1 為替感応度についてはP.8参照

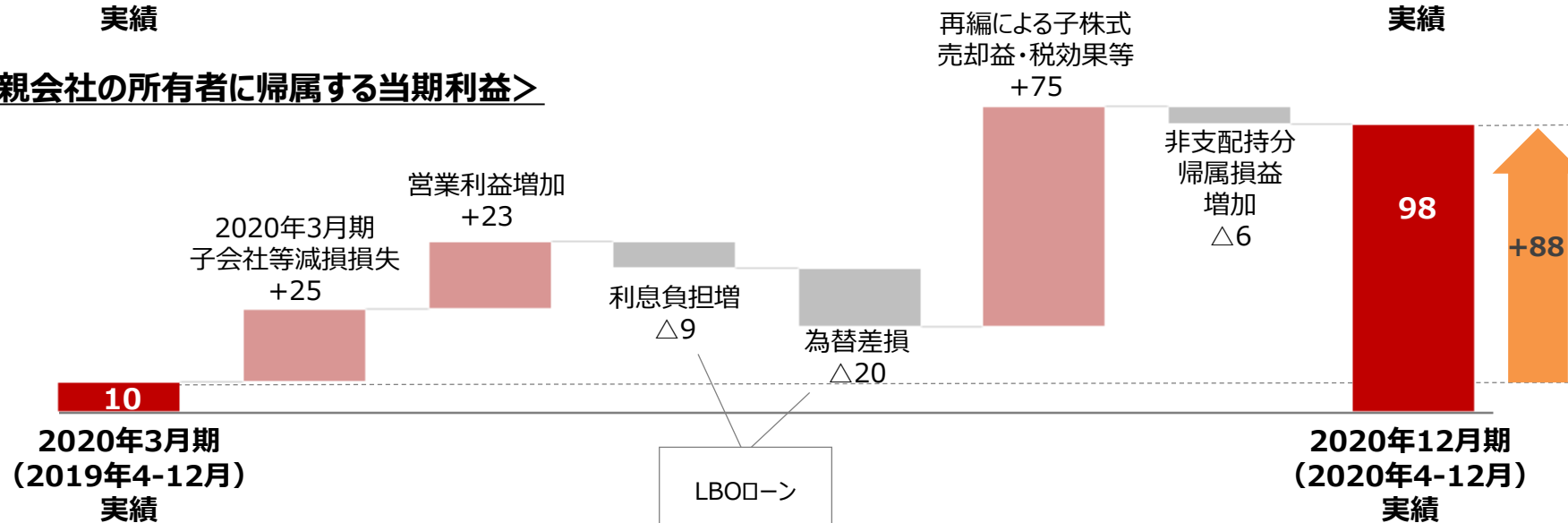
営業利益・親会社の所有者に帰属する当期利益 増減分析

<営業利益>

単位：億円



<親会社の所有者に帰属する当期利益>



AlphaTheta買収により、為替リスクが存在

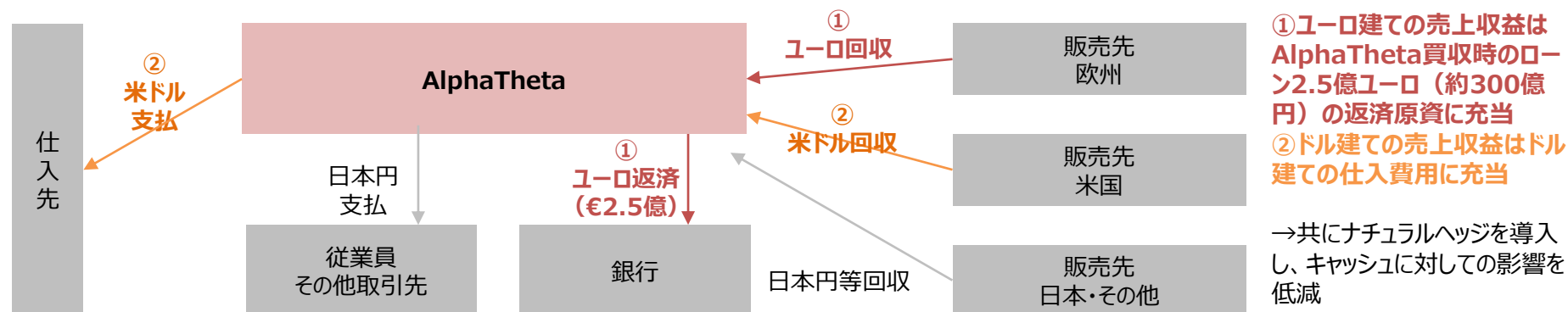
- キャッシュについては、以下資金フロー図の通りナチュラルヘッジを導入し、影響を低減
- 会計上は、対ユーロで、
 - 事業EBITDA →平均為替レートで1円の円安/円高につき年間約70百万円の増益/減益
 - 税引前利益* →期末為替レートで1円の円安/円高につき年間約240百万円の減益/増益

※ユーロ建てローンの評価替えによる為替差損益。返済に伴う残高減少に伴い影響額は減少

■ 2020年通期決算（4-12月）への影響

- 今回の決算においては、ローンの為替影響による評価替えにより金融費用が約20億円発生、税引前利益に計上 ※今後も四半期決算ごとに評価替えを実施し、増減額を損益として認識

資金フロー図



バランスシートの状況

単位：百万円	2020年 3月期末	2020年 12月期末	増減額
現金及び現金同等物	50,162	69,596	① +19,434
売上債権及びその他の債権	14,540	12,037	△2,503
棚卸資産	4,967	5,756	+789
のれん *1	38,160	53,994	② +15,834
無形資産 *1	17,260	62,276	③ +45,016
繰延税金資産	4,477	2,788	△1,689
その他	30,738	29,401	△1,337
資産合計	160,308	235,848	+75,540
仕入債務及びその他の債務	12,013	8,267	△3,746
借入金（流動・非流動）	37,364	81,035	④ +43,671
繰延税金負債	4,285	8,755	+4,470
その他	22,812	18,601	△4,211
負債合計	76,474	116,658	+40,184
親会社の所有者に帰属する持分合計	78,488	105,419	+26,931
非支配持分	5,345	13,769	+8,424
資本合計	83,833	119,189	+35,356

- 当期より、AlphaThetaが連結加入
- 売却済のデンタルホールディング、ハルメクホールディングス、ジーンテック、日本共済の資産負債は除外

（増減要因）

- ① 現金及び現金同等物の増加+194億円は、AlphaTheta買収のエクイティ出資△200億円、JMDC株式売却+159億円、子会社売却+145億円、JMDC海外公募増資+107億円が主な要因
- ② のれんの増加+158億円はAlphaTheta+194億円、データインデックス+69億円、グループ事業再編による連結子会社売却による減少△108億円が主な要因
- ③ 無形資産の増加+450億円は主にAlphaTheta加入によるPPAの適用によるもの
- ④ 借入金の増加+436億円はAlphaTheta買収による借入+450億円（LBOローン300億円、バックファイナンス150億円）が主な要因

*1 AlphaTheta買収によるPPAの適用が確定したため、暫定値から確定値に更新しております。

ものづくり

- テイボーは、4-6月に新型コロナウイルスの影響を特に受けましたが、足元は回復傾向にあります。
- AlphaThetaが4月3日よりグループ入りにより、連結業績に大きく寄与。幅広い商品ラインナップにより販売は堅調で、コロナ禍においても前期及び予想を上回り着地しました。
- AlphaThetaの買収に伴い、FAフィー等の買収関連費用を4-6月に約10億円計上しております。5月15日公表時の通期連結業績予想に織り込み済みです。

ヘルスケア

- 4月1日からNSパートナーズがJMDCグループとなりました。また、フィードを有するデンタルホールディング及びジーンテックの全株式を7-9月に譲渡完了しております。
- ハビタスケア、医薬情報ネット、データインデックスがグループ入りしております。
- NKメディコに関しては、上場準備を開始するとともに、引き続き個別事業の可能性を追求いたします。

その他

- 当社の財務体質を強化するとともに、JMDC株式の流動比率を高めることを目的として、6月にJMDCの株式を一部売却いたしました。引き続き連結子会社であるため、売却益相当額（税金考慮後）は資本剰余金として処理されますが、税効果により、親会社の所有者に帰属する当期利益の増益要因となりました。
- ポートフォリオ再編を進め、ハルメクや全国通販を有するハルメクホールディングス及び日本共済の全株式を譲渡し、シニア・ライフセグメントを廃止いたしました。
- JMDCが11月、海外募集による新株式発行により約107億円を調達しておりますが、当社持分の希薄化は1.9%程度であり、引き続き当社の連結子会社として、コア事業の一つであるヘルスケア事業を推進しております。

セグメント別 売上収益／事業EBITDA

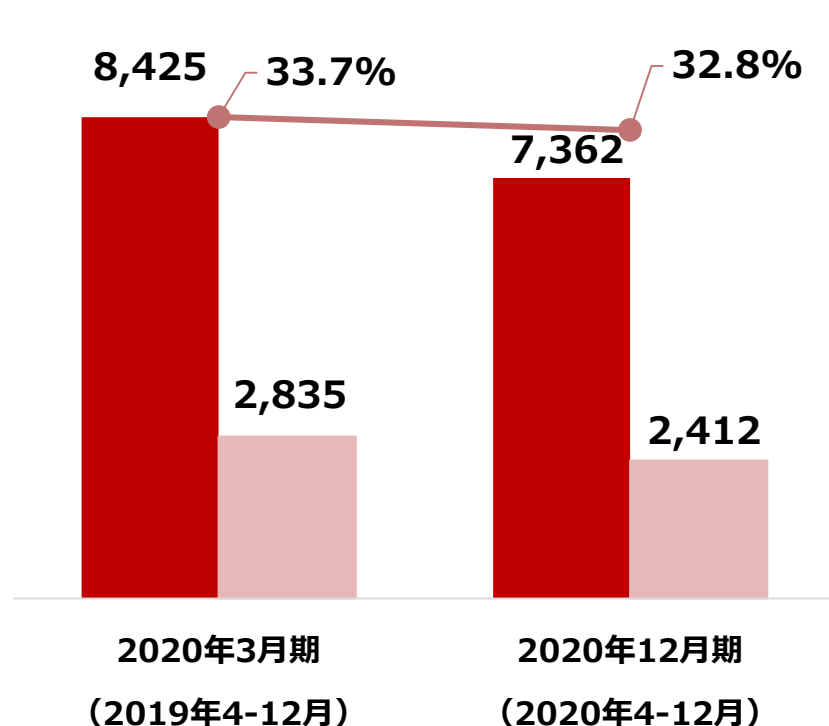
単位：百万円	売上収益			事業EBITDA		
	2020年3月期 (2019年4-12月) 実績	2020年12月期 (2020年4-12月) 実績	対前年同期 増減率	2020年3月期 (2019年4-12月) 実績	2020年12月期 (2020年4-12月) 実績	対前年同期 増減率
ものづくり	8,425	28,892	+242.9%	2,835	7,121	+151.2%
部品・材料	8,425	7,362	-12.6%	2,835	2,412	-14.9%
音響機器関連	-	21,530	-	-	4,708	-
ヘルスケア	10,457	12,255	+17.2%	2,739	2,999	+9.5%
医療情報 *1 *2	9,796	11,597	+18.4%	2,552	2,896	+13.5%
医療検査	660	657	-0.5%	186	103	-44.7%
その他	182	-	-	△98	-	-
全社費用	-	-	-	△411	△633	-
連結合計	19,065	41,148	+115.8%	5,063	9,487	+87.4%

*1 JMDCに異動したNSパートナーズの数字を含みます。

*2 当社の事業EBITDAは「使用権資産の減価償却費は除く」と定義している点において、JMDCが公表しているEBITDAとは異なります。

単位：百万円

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



売上収益	2019年4-12月	2020年4-12月	増減率
筆記	5,621	4,851	-13.7%
コスメ	1,088	832	-23.5%
MIM	1,357	1,351	-0.4%
その他	358	326	-8.9%

売上収益 -12.6% 減収

- 新型コロナウイルスの影響を受け減収
- 筆記は、画材関連の巣ごもり需要があったが、全体をカバーするまでは至らず10-12月以降回復傾向
- コスメは、コロナ禍の外出自粛による使用機会の減少により、特に影響を受けたが、中国市場を中心に需要が回復
- MIMは、4-6月は顧客の生産調整等の影響があったが、7月以降自転車分野が好調に推移し、10-12月以降自動車分野も回復。結果、前期同等で着地

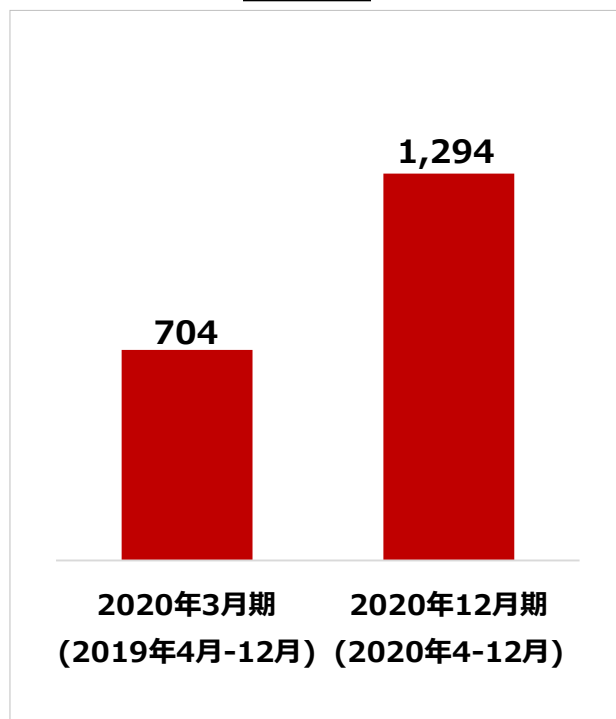
事業EBITDA -14.9% 減益

- 生産活動の制限等により、生産性へも影響が出たが、今後改善の見込み
- 引き続き高い収益性を維持し、グループの基盤事業として安定した収益の創出を目指す

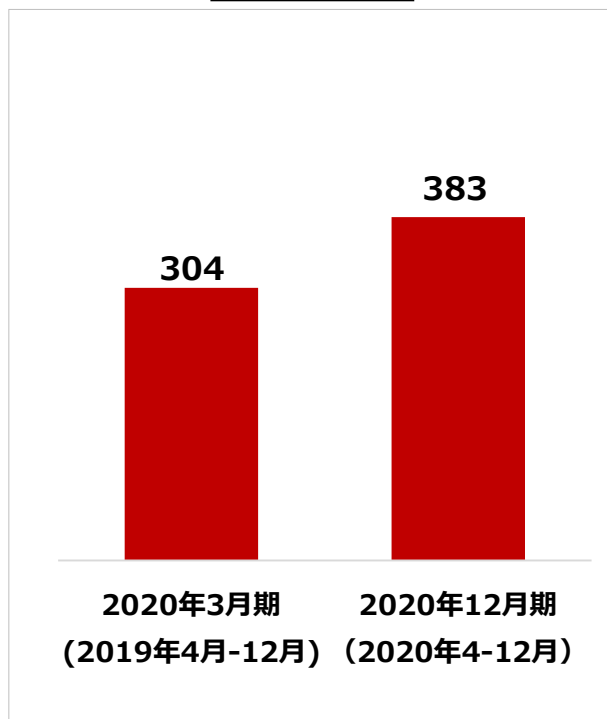
MIM工場新設により、設備投資は大幅増

単位：百万円

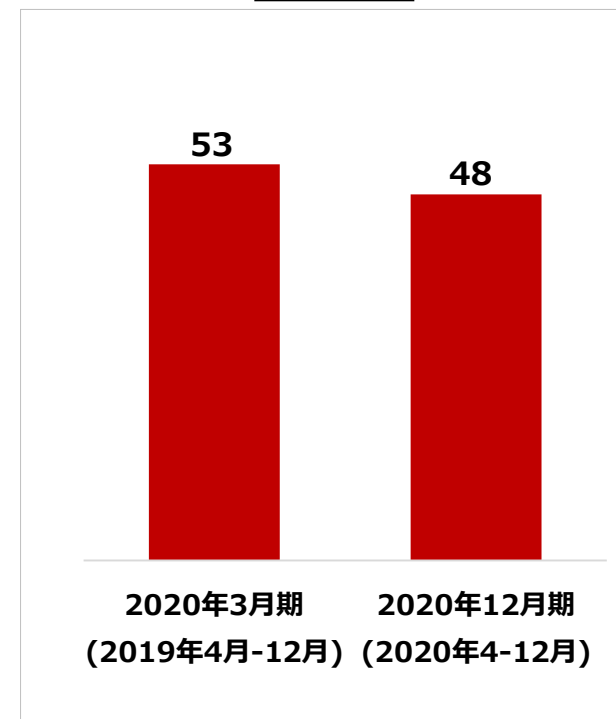
設備投資



減価償却費 *1



研究開発費

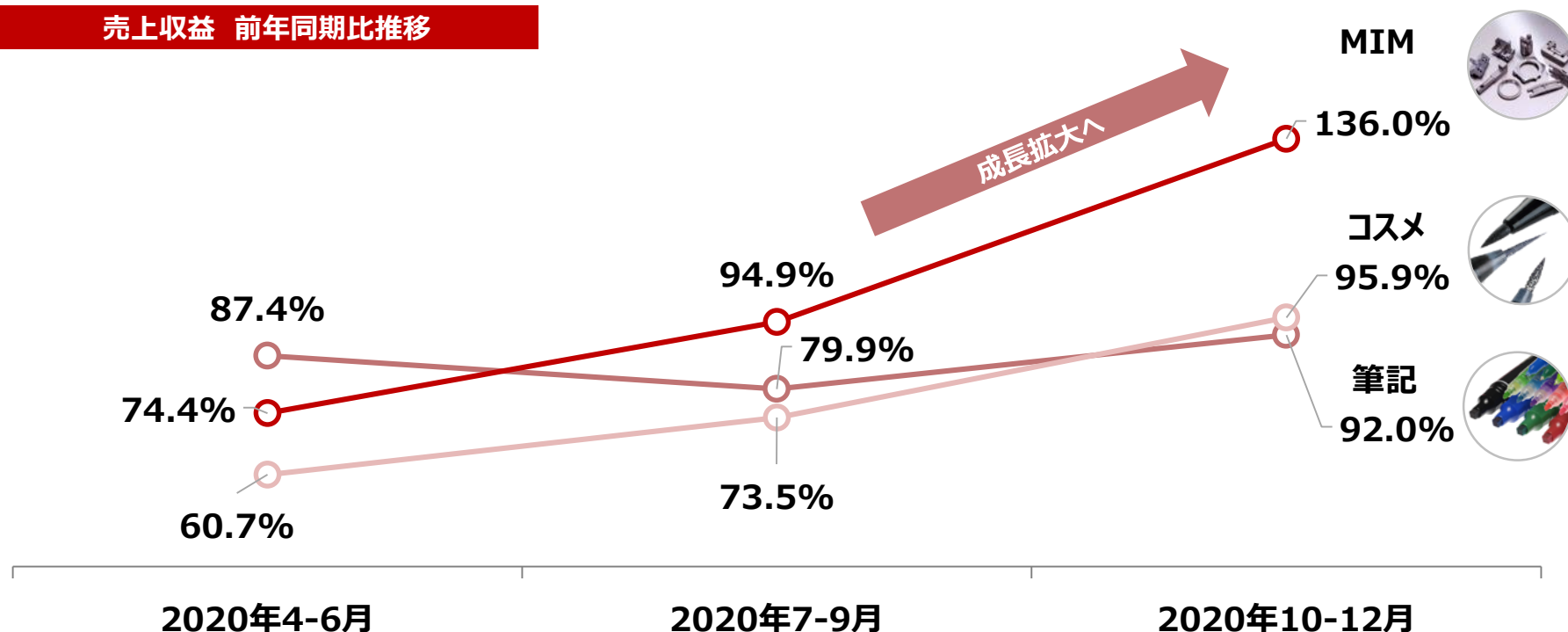


*1 使用権資産に係る償却費及びPPA適用による償却費を除きます。

参考) 部品・材料－カテゴリ別売上収益 前年同期比推移

- 筆記及びコスメは、上半期（4-9月）は前年同期を大きく下回ったものの、10月以降回復し、底打ちを確認
- MIMは、自転車分野が好調に推移、10月以降再び成長拡大

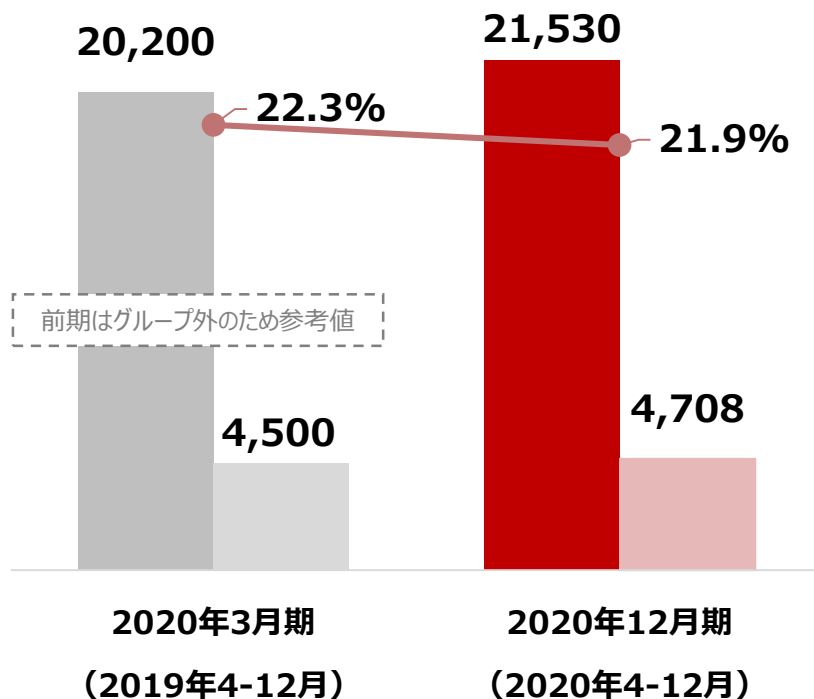
売上収益 前年同期比推移



ものづくりセグメント – 音響機器関連

単位：百万円

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



売上収益 +6.6%増収

- 新型コロナウイルスの影響でクラブやイベント会場向けの販売は停滞した一方、巣ごもり需要もあり、ホームユース向けを中心とした販売は好調で、成長継続
- ロックダウンにより生産工場が3月中旬から1か月強、活動停止。4月後半から再稼働するも、4-6月は販売好調により在庫が枯渇し、受注残高として積みあがった
- 生産体制を強化し受注残高の解消に取り組んだ結果、7月以降は前年同期を超過し、通期で増収で着地

事業EBITDA +4.6%増益

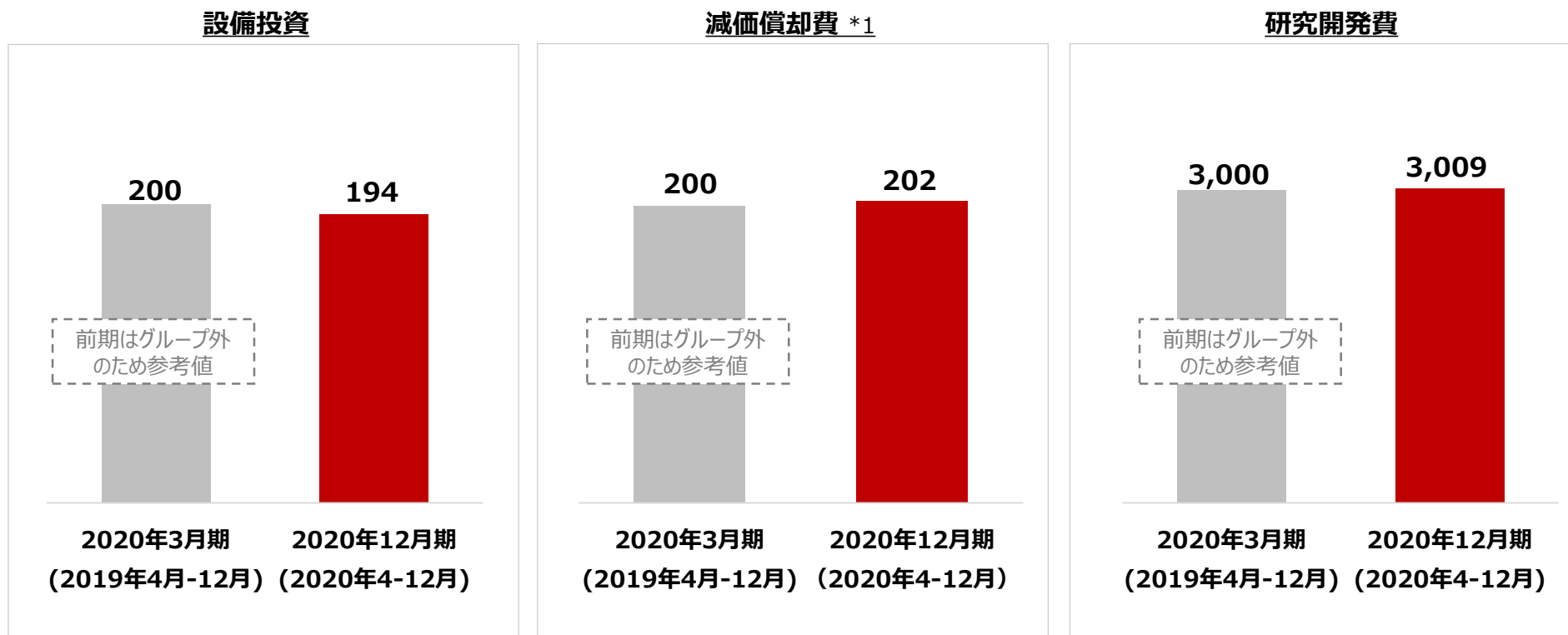
- 売上収益の増収に伴い、増益

	2019年4-12月	2020年4-12月
DJ機器出荷台数	320千台	363千台
DJ向けアプリケーションMAU*1	55.0万人	60.5万人

*1 MAUは2019年10-12月、2020年10-12月の平均値

研究開発費について、10-12月では対前期+2億円と投資を促進するも、通期では前期同等で着地

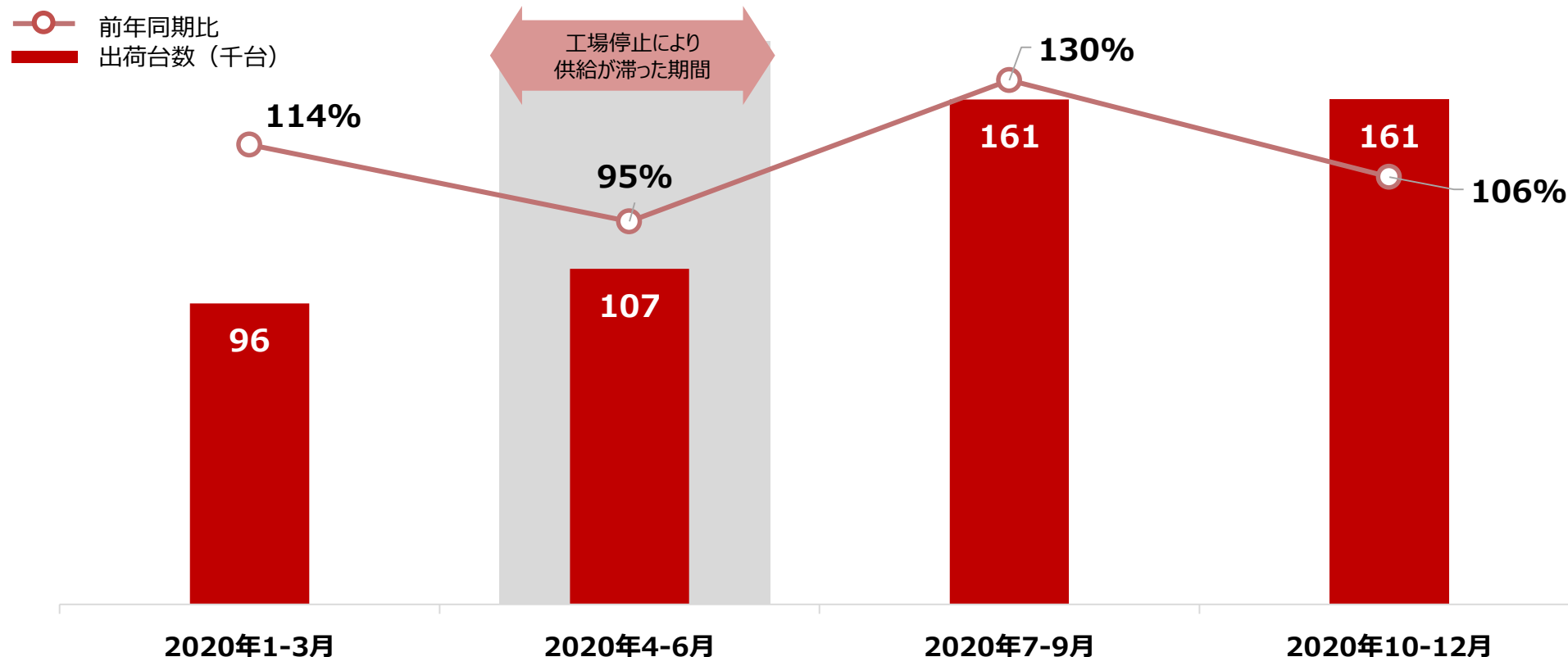
単位：百万円



*1 使用权資産に係る償却費及びPPA適用による償却費を除きます。

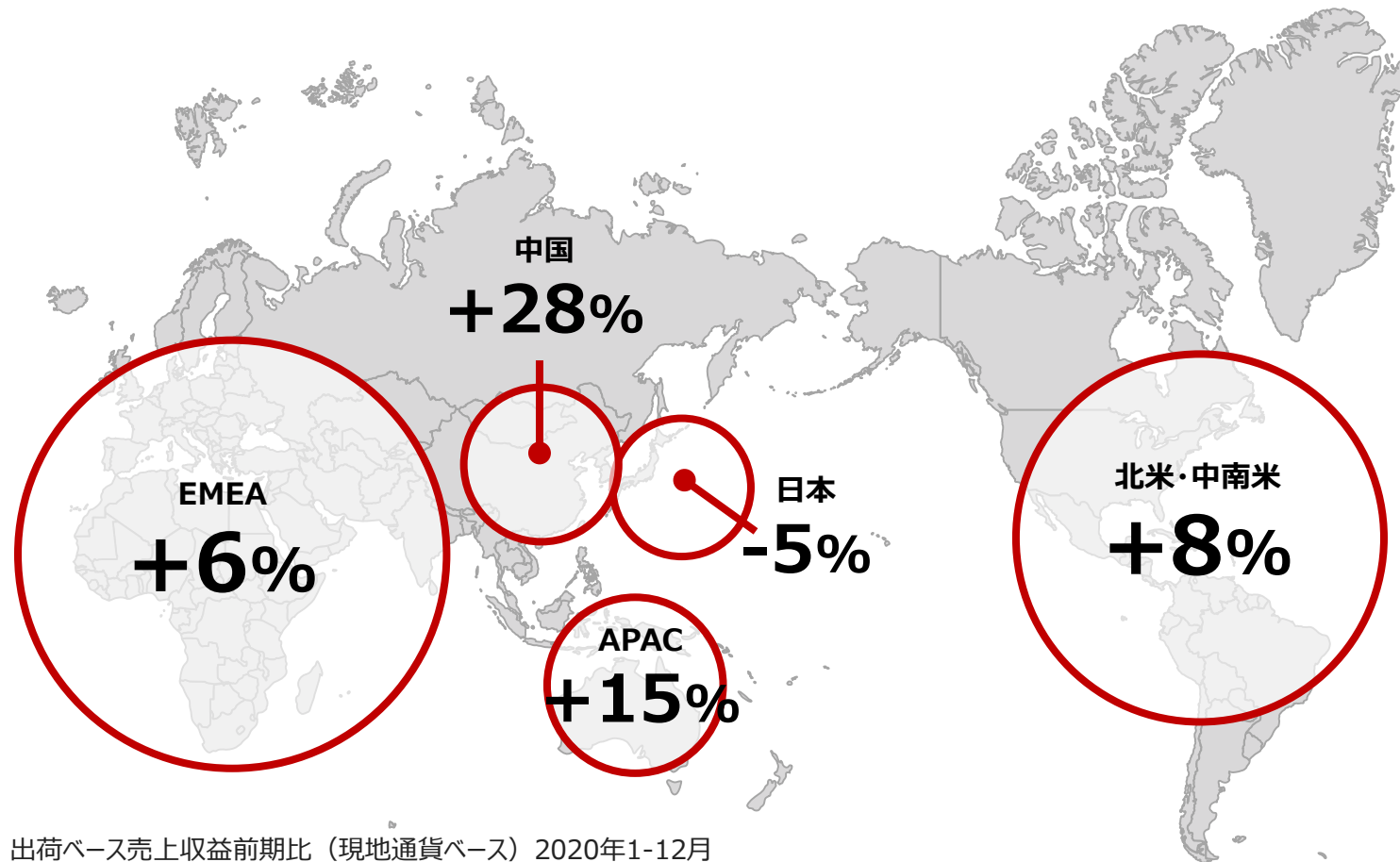
参考) 音響機器関連 – 出荷台数推移

- 3月の生産工場停止により、4-6月に在庫枯渇問題が発生したが、積み上がった受注残高の解消に取り組んだ結果、7-9月は出荷台数が前年同期比で大幅成長
- 10-12月は通常稼働に戻り成長継続。在庫枯渇問題は期中で解決



参考) 地域別売上収益 (現地通貨ベース)

- 主力市場である欧米は、コロナ禍にあってもホームユースを中心に成長
- 中国は、経済回復が早かったため、クラブやイベント会場向けも含めて大きく伸長

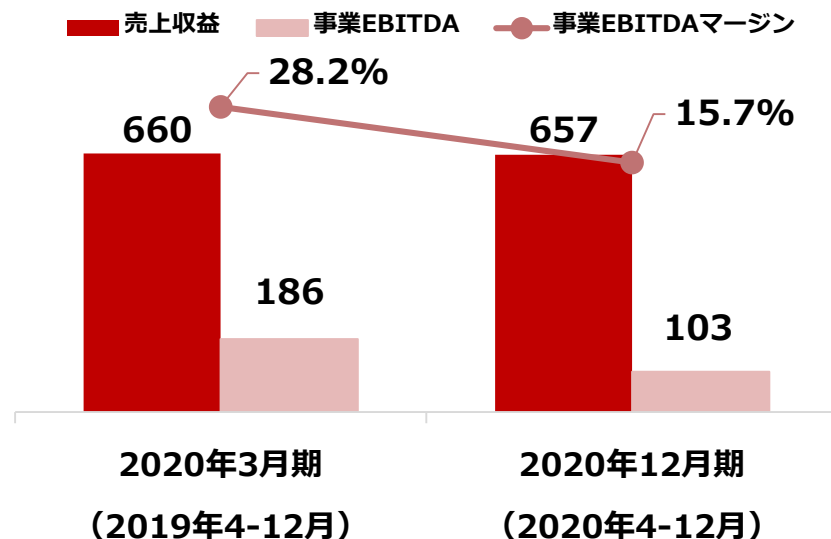


* 出荷ベース売上収益前期比 (現地通貨ベース) 2020年1-12月

ヘルスケアセグメント－医療検査

*医療情報については、JMDCの決算資料をご参照ください。

単位：百万円



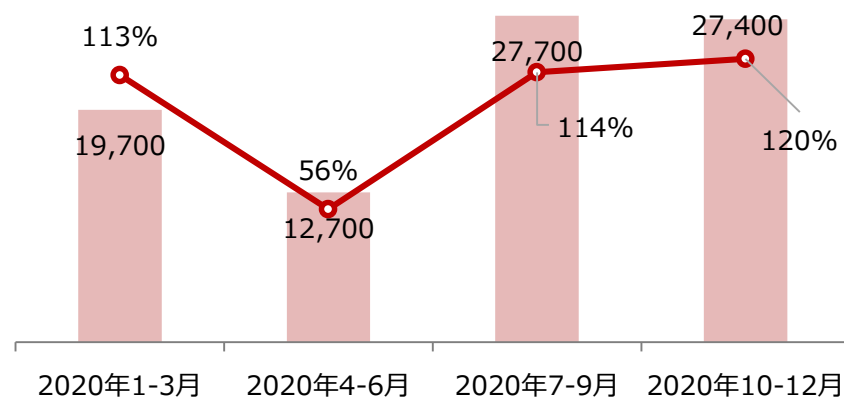
売上収益 -0.5% 前期並みで着地

- 4-6月は、緊急事態宣言下の来院控えの影響を受け、主力検査サービスのLOX-index®の検査数が大幅に減少するも、7月以降回復
- 通期では4-6月の落ち込みをカバーするまでは至らず、前期並みで着地

事業EBITDA -44.7% 大幅減益

- 人員増加等の管理体制強化により減益

LOX-index® 検査数前年同月比 推移



1 2020年12月期 通期連結業績（9か月）

2 2021年12月期 通期連結業績予想

3 APPENDIX

開示資料の比較について

- ・ 2020年12月期は決算期変更により9か月の変則決算であったため、2021年12月期の決算短信及び有価証券報告書における前年同期比較において、対象となる月が異なります。
- ・ 決算補足説明資料については、四半期のタイミングを合わせ開示いたします。

		2020年（前期）												2021年（当期）											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
決算短信／ 有価証券報告書					第1四半期			第2四半期			第3四半期			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	決算補足 説明資料	第1四半期 *1			第2四半期			第3四半期			第4四半期			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		

*1 2020年4月に買収したAlphaThetaの数値を連結したと仮定した参考数値

2021年12月期 連結通期業績予想

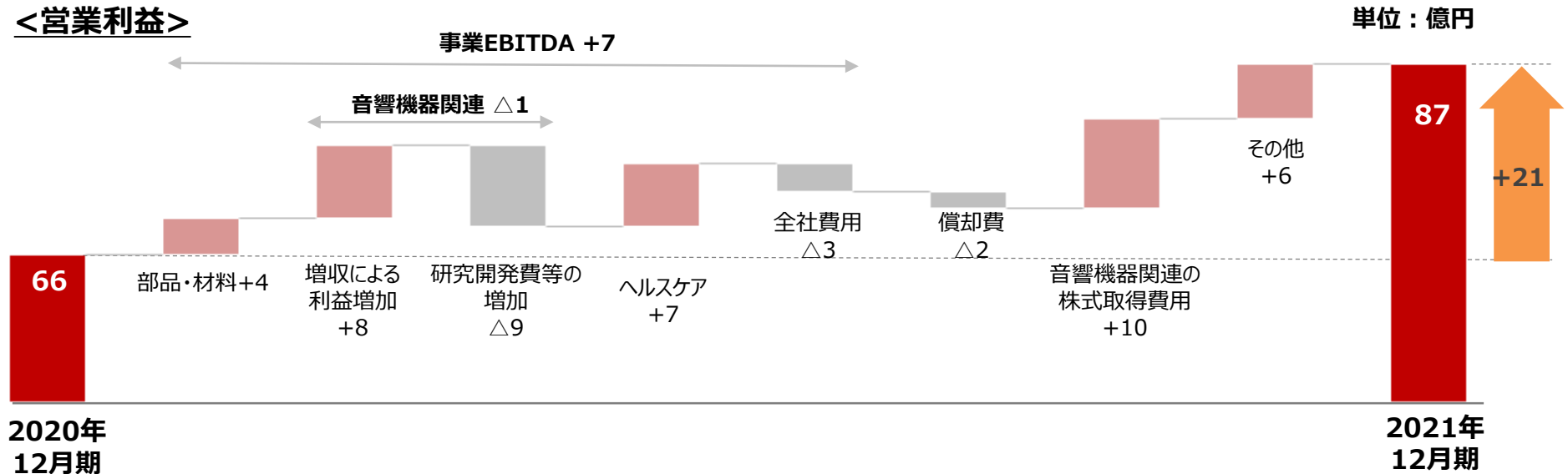
- ・ 売上収益、営業利益は、増収増益の予想
- ・ 親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期は子会社株式売却益や税効果等を利益計上したため減益予想（それら一過性の影響を除くと、事業成長に伴い増益）

単位：百万円	2020年12月期 (2020年1-12月) 実績	2021年12月期 (2021年1-12月) 予想	対前期		
			増減額	増減比	
売上収益	53,530	58,500	+4,970	+9.3%	
事業EBITDA	12,072	12,800	+728	+6.0%	
事業EBITDAマージン	22.6%	21.9%			
営業利益	6,636	8,700	+2,064	+31.1%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	9,966	3,400	△6,566	-65.9%	
為替レート (平均)	米ドル	-	106円	-	-
	ユーロ	-	122円	-	-
為替レート (期末)	米ドル	-	103円	-	-
	ユーロ	-	127円	-	-

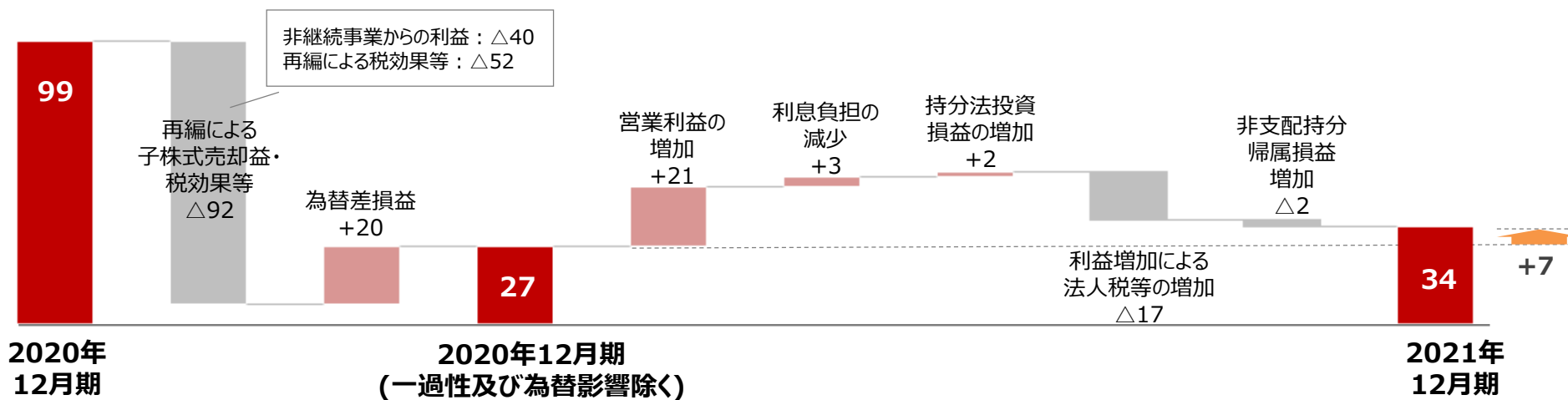
※現在の見直しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定する影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見直しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通し変動する場合には、速やかにお知らせいたします。

連結通期業績予想 増減分析

<営業利益>

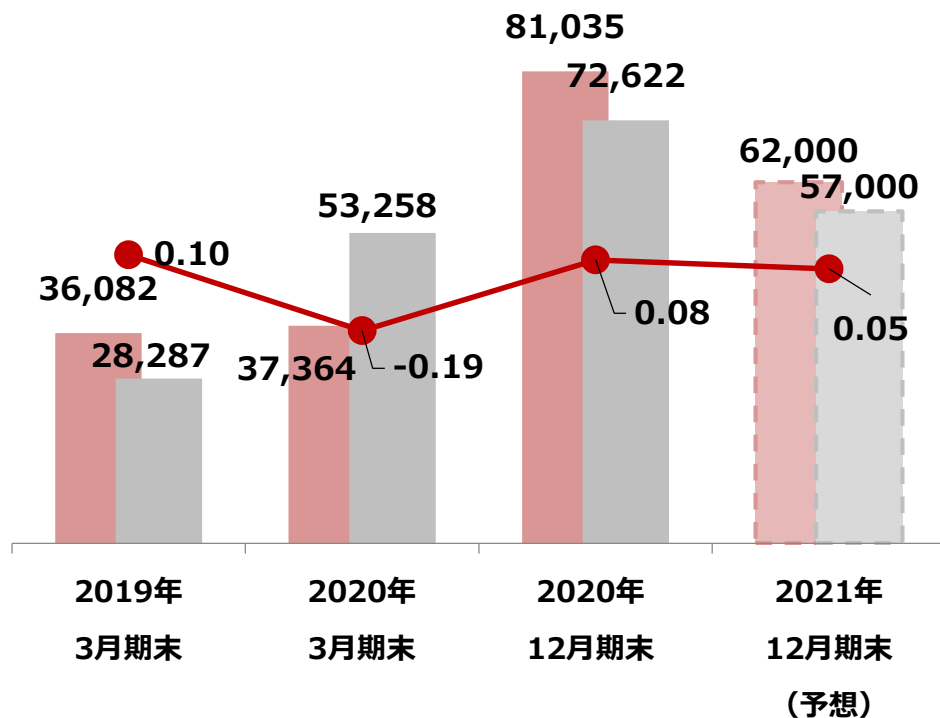


<親会社の所有者に帰属する当期利益>



単位：百万円

有利子負債 現金性資産 Net DELレシオ



Net Debt	7,795	△15,893	8,413	5,000
----------	-------	---------	-------	-------

2020年12月末

- 有利子負債はAlphaTheta買収により増加
- 事業再編やJMDC株式の一部売却、JMDCの海外公募増資により現金性資産は大幅に増加
- NET DELレシオは0.08倍で健全性を維持

2021年12月期末 (予想)

- 有利子負債170億円程度の繰上返済により投下資本を圧縮
- 返済後でも現金性資産は570億円（売上収益の約1年分）と手元流動性を確保
- 結果、Net DELレシオは0.05倍

通期連結業績予想のポイント

部品・材料

- ・ 新型コロナウイルスの影響は、2Qまでは昨年と同程度と想定。3Q以降は復調を見込む
- ・ 投資育成中のMIMは、コロナ禍においても受注が活況なことから通期で2桁成長を見込む。新工場は順次稼働を始めており、2021年中に100%稼働予定

音響機器関連

- ・ 11月13日に公表した部品サプライヤー工場の火災について、市中在庫の確保や、代替部品への置換設計が早期完了したことにより、業績への影響は軽微
- ・ 新型コロナウイルスの影響は、2Qまでは昨年と同程度と想定。3Q以降は徐々に復調を見込む。売上収益の成長率は、コロナ禍の2020年12月期も販売が好調だったことを踏まえ設定
- ・ その上で、2020年12月期に影響を一番受けた生産/供給面及び底堅いニーズを支えた企画開発力、これらの更なる強化のため、研究開発費等の成長コストを大きく計上。よって、増収も、事業EBITDAは減益に（営業利益は、グループ入り時の一過性コストがなくなることにより増益）

医療情報

- ・ JMDCは上場会社かつ決算期が異なり業績予想発表前（5月予定）のため、当社が独自に試算。成長率の市場コンセンサスのうち、保守的に、そのレンジの下側である15%を採用し、算出

医療検査

- ・ 1Qは、緊急事態宣言が再発令に伴う来院控えにより、一定の影響を受けると想定。ただし、前回の緊急事態宣言に比べエリアが限定されていることから、影響は限定的と予想。2Q以降は成長基調を見込む

セグメント別 売上収益／事業EBITDA（通期予想）

単位：百万円	売上収益			事業EBITDA		
	2020年12月期 (2020年1-12月) 実績	2021年12月期 (2020年1-12月) 予想	対前期 増減率	2020年12月期 (2020年1-12月) 実績	2021年12月期 (2020年1-12月) 予想	対前期 増減率
ものづくり	37,043	39,400	+6.4%	8,721	9,000	+3.2%
部品・材料	10,212	11,200	+9.7%	3,212	3,600	+12.1%
音響機器関連	26,831	28,200	+5.1%	5,509	5,400	-2.0%
ヘルスケア	16,441	19,100	+16.2%	4,162	4,900	17.7%
医療情報 *1 *2	15,586	17,900	+14.8%	3,999	4,600	+15.0%
医療検査	855	1,200	+40.3%	163	300	+83.9%
その他	46	-	-	△5	-	-
全社費用	-	-	-	△807	△1,100	-
連結合計	53,530	58,500	+9.3%	12,072	12,800	+6.0%

*1 JMDCに異動したNSパートナーズの数字を含みます。

*2 当社の事業EBITDAは「使用権資産の減価償却費は除く」と定義している点において、JMDCが公表しているEBITDAとは異なります。

ものづくり－設備投資・減価償却費・研究開発費（通期予想）

- ・ 部品・材料は、3か年でMIM新工場に約24億円を投資する見込み
- ・ 音響機器関連は、研究開発費を積極投資し、競争力を維持・強化（対前期+約9億円）

部品・材料

単位：百万円	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期 (予想)
設備投資*1	1,302 (910)	1,376 (1,124)	800 (400)
減価償却費	390	503	600
研究開発費	185	163	100

※1 かつこ内はMIM工場に係る設備投資

音響機器関連

単位：百万円	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期 (予想)
設備投資	250	194	500
減価償却費	250	269	300
研究開発費	3,800	4,056	5,000

- ・ 2020年4月、浜松市第三都田地区に「MIM開発センター」完成
- ・ 2021年中に100%稼働予定、成長の柱としていく

▼テイボアの技術の特徴

ペン先（筆記・コスメ）	MIM
<ul style="list-style-type: none"> ・オーダーメイド ・豊富な製品ラインナップ ・成形技術や研磨技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・量産対応 ・中空MIMの量産技術力 ・ニーズに合わせた開発力

▼MIM開発センター



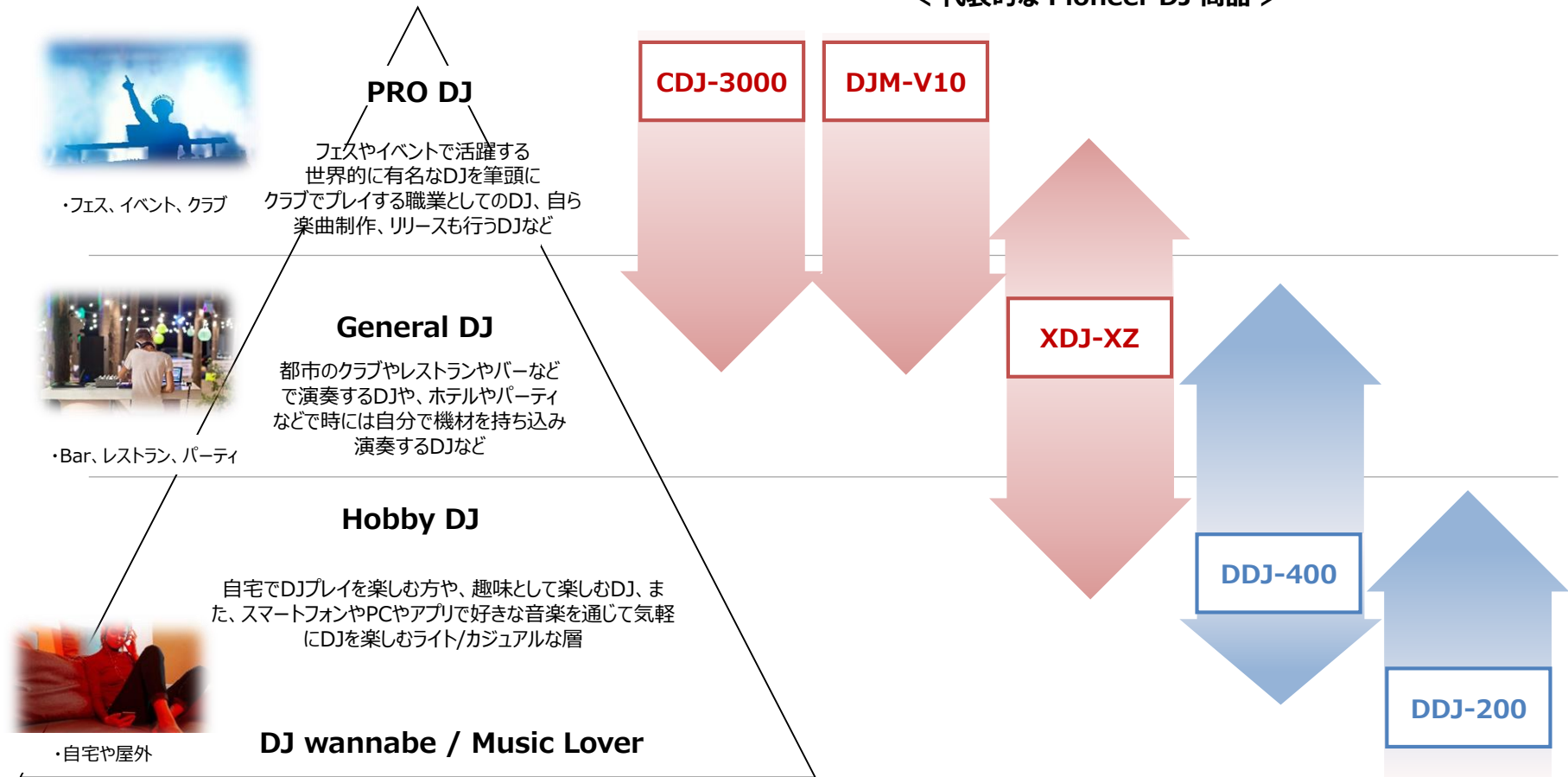
▼テイボアの生産体制拡大の取り組み

年月	主な取り組み
2012年	<ul style="list-style-type: none"> ・中国進出、「泰宝制筆材料」設立 ・浜松の都田工場に倉庫を新設し、生産体制の主力化
2015年	<ul style="list-style-type: none"> ・MIM工場の拡張、MIM生産能力を増強
2018年	<ul style="list-style-type: none"> ・都田技術センター内に「NEXT」新設、技術開発力の強化と研究開発体制を構築 ・ペン先生産能力を年間約140億円規模へ
2019年	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)soliton corporation買収、PBTブラシの開発、生産技術取得によりコスメ事業を拡大
2020年	<ul style="list-style-type: none"> ・MIM開発センター（新工場）新設 ・MIM生産能力を増強

音響機器関連 – 幅広い商品ラインナップ

利用シーンに合わせた、幅広い商品ラインナップが様々なDJのニーズをカバー

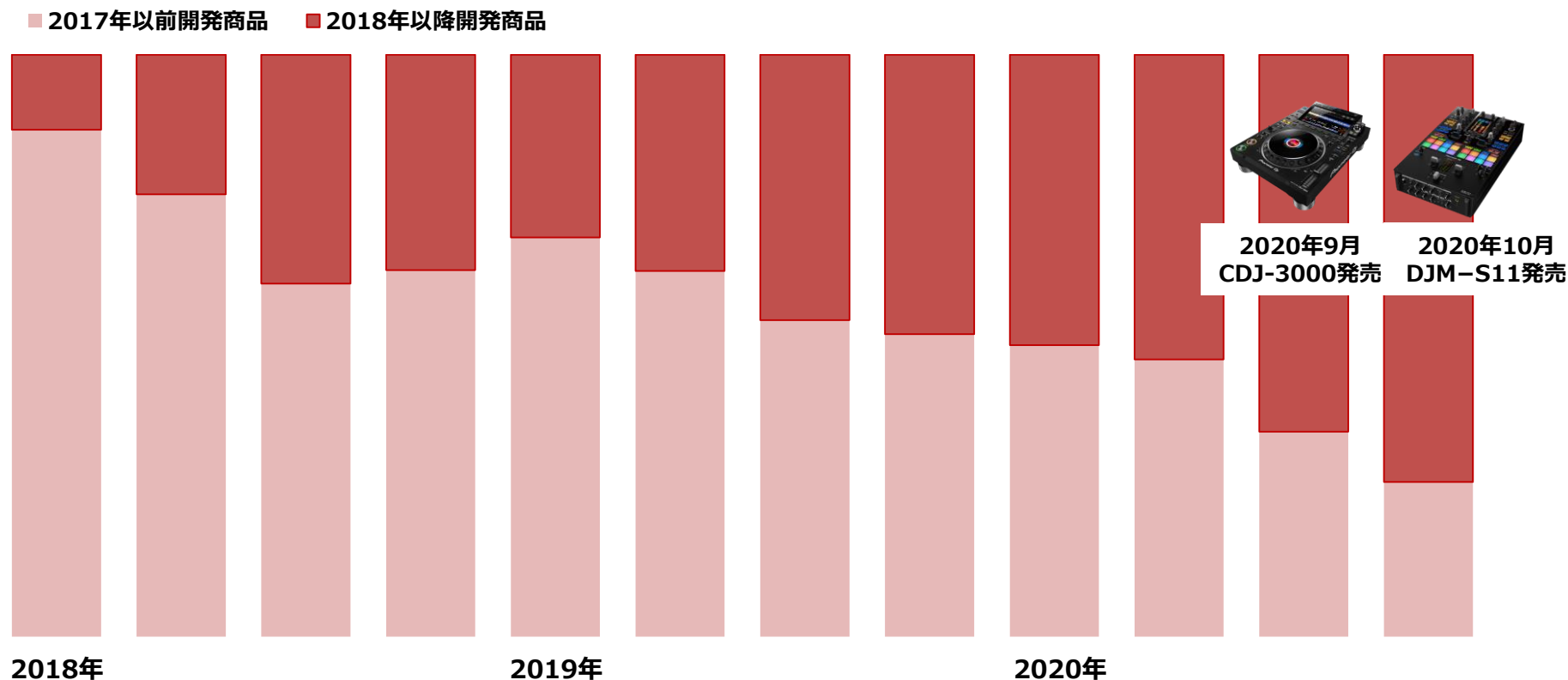
< 代表的な Pioneer DJ 商品 >



音響機器関連 – 新商品の売上収益構成比

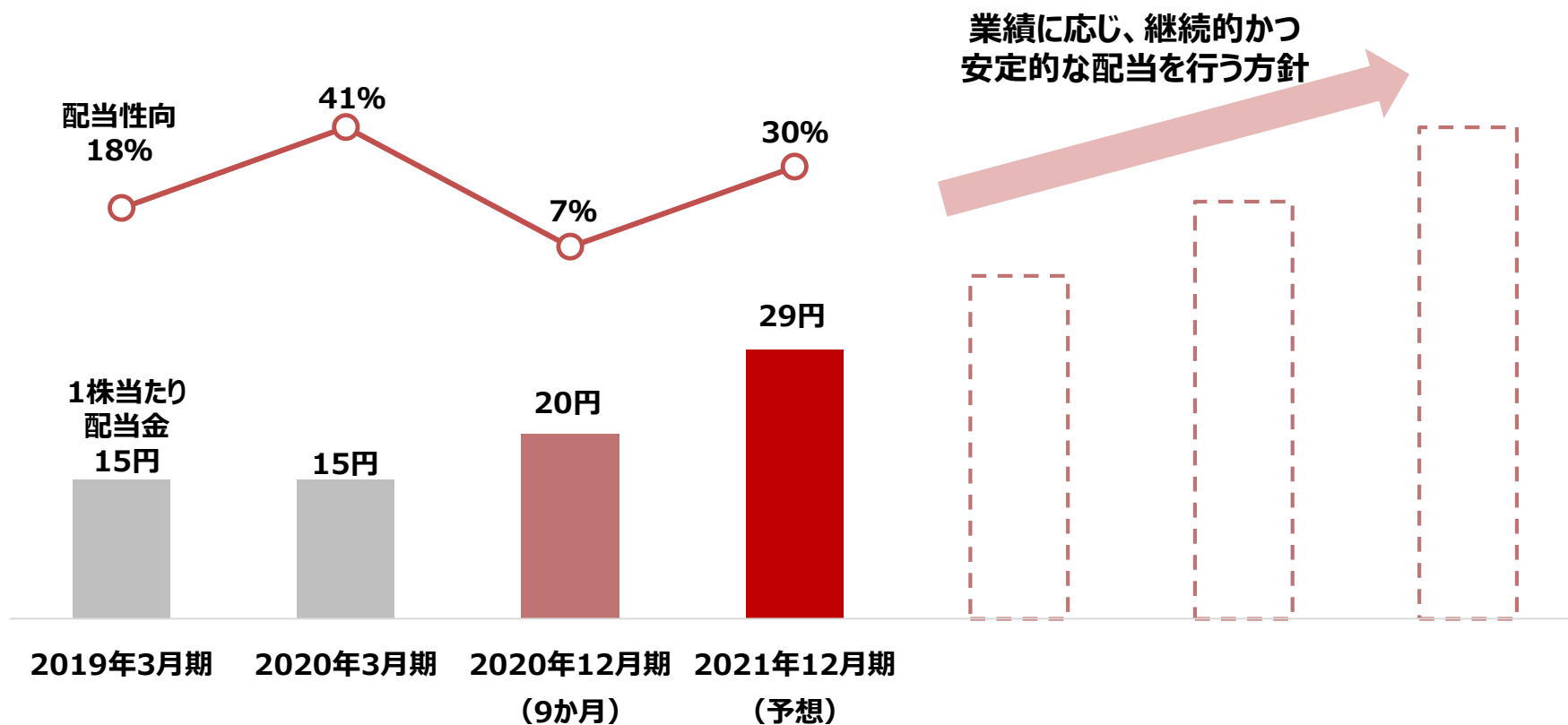
- 3年以内にリリースした新商品の売上シェアは、2020年12月末時点で7割超
- 過去から常に5割超となっており、それを成す企画開発力は競争優位の1つ
- 更なるリスク対応及び成長に向けた追加投資を行い、競争力を維持・強化

3年以内新商品の売上収益構成比（2018年～2020年の四半期推移）



配当について

- 2020年12月期は、年間20円/株としております。
- 2021年12月期は、年間29円/株と予想しております。（配当性向30%）



1 2020年12月期 通期連結業績（9か月）

2 2021年12月期 通期連結業績予想

3 APPENDIX

連結上半期業績予想

単位：百万円	2020年12月期 (2020年1-6月) 実績	2021年12月期 (2021年1-6月) 予想	対前年同期		
			増減額	増減比	
売上収益	23,242	27,600	+4,358	+18.7%	
事業EBITDA	4,094	5,700	+1,606	+39.2%	
事業EBITDAマージン	17.6%	20.7%			
営業利益	552	3,600	+3,048	+552.5%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	684	1,400	+716	+104.7%	
為替レート (平均)	米ドル	-	106円	-	-
	ユーロ	-	122円	-	-
為替レート (期末)	米ドル	-	103円	-	-
	ユーロ	-	127円	-	-

※現在の見通しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定しうる影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見通しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通しの変動する場合には、速やかにお知らせいたします。

※2020年12月期実績は非継続事業を遡及した数字を記載しております。

セグメント別 売上収益／事業EBITDA（上半期）

単位：百万円	売上収益			事業EBITDA		
	2020年12月期 (2020年1-6月) 実績	2021年12月期 (2021年1-6月) 予想	対前年同期 増減率	2020年12月期 (2020年1-6月) 実績	2021年12月期 (2021年1-6月) 予想	対前年同期 増減率
ものづくり	15,683	18,700	+19.2%	2,805	4,200	+49.8%
部品・材料	5,219	5,200	-0.4%	1,448	1,700	+17.4%
音響機器関連	10,464	13,500	+29.0%	1,356	2,500	+84.3%
ヘルスケア	7,513	8,900	+18.5%	1,672	2,050	22.6%
医療情報 *1 *2	7,197	8,300	+15.3%	1,624	1,900	+17.0%
医療検査	315	600	+90.2%	49	150	+209.1%
その他	46	-	-	△5	-	-
全社費用	-	-	-	△378	△550	-
連結合計	23,242	27,600	+18.7%	4,094	5,700	+39.2%

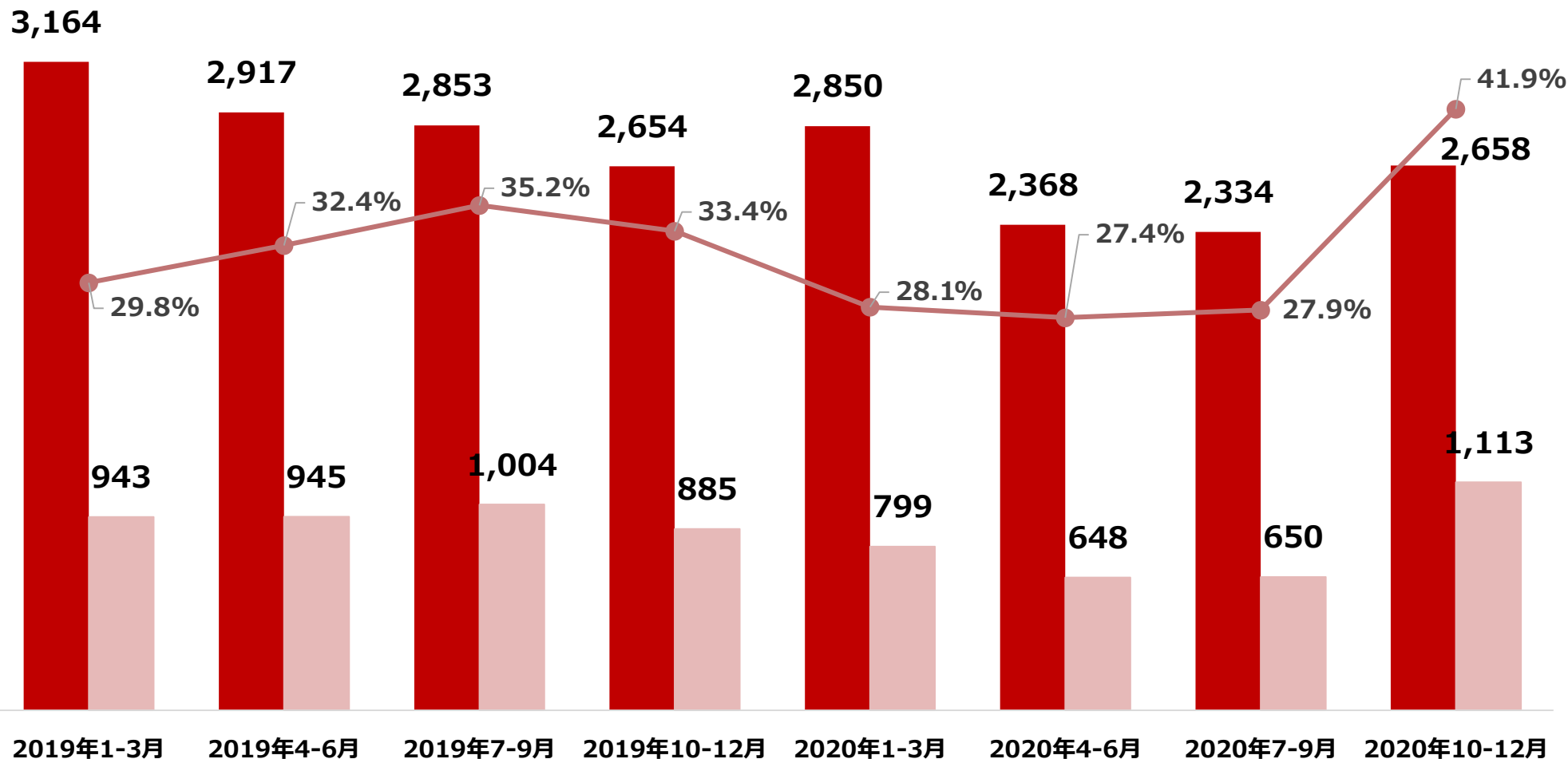
*1 JMDCに異動したNSパートナーズの数字を含みます。

*2 当社の事業EBITDAは「使用権資産の減価償却費は除く」と定義している点において、JMDCが公表しているEBITDAとは異なります。

四半期推移 – ものづくりセグメント – 部品・材料

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

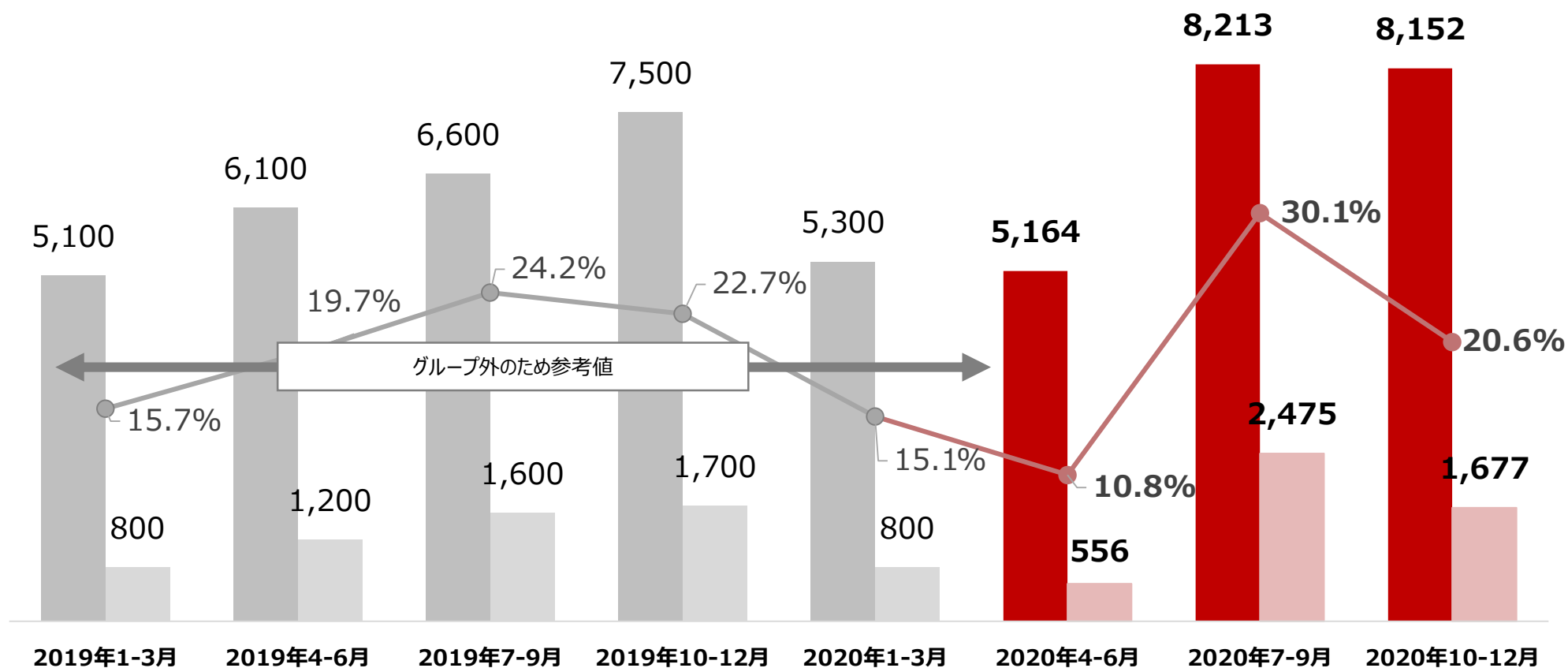
単位：百万円



四半期推移 – ものづくりセグメント – 音響機器関連

単位：百万円

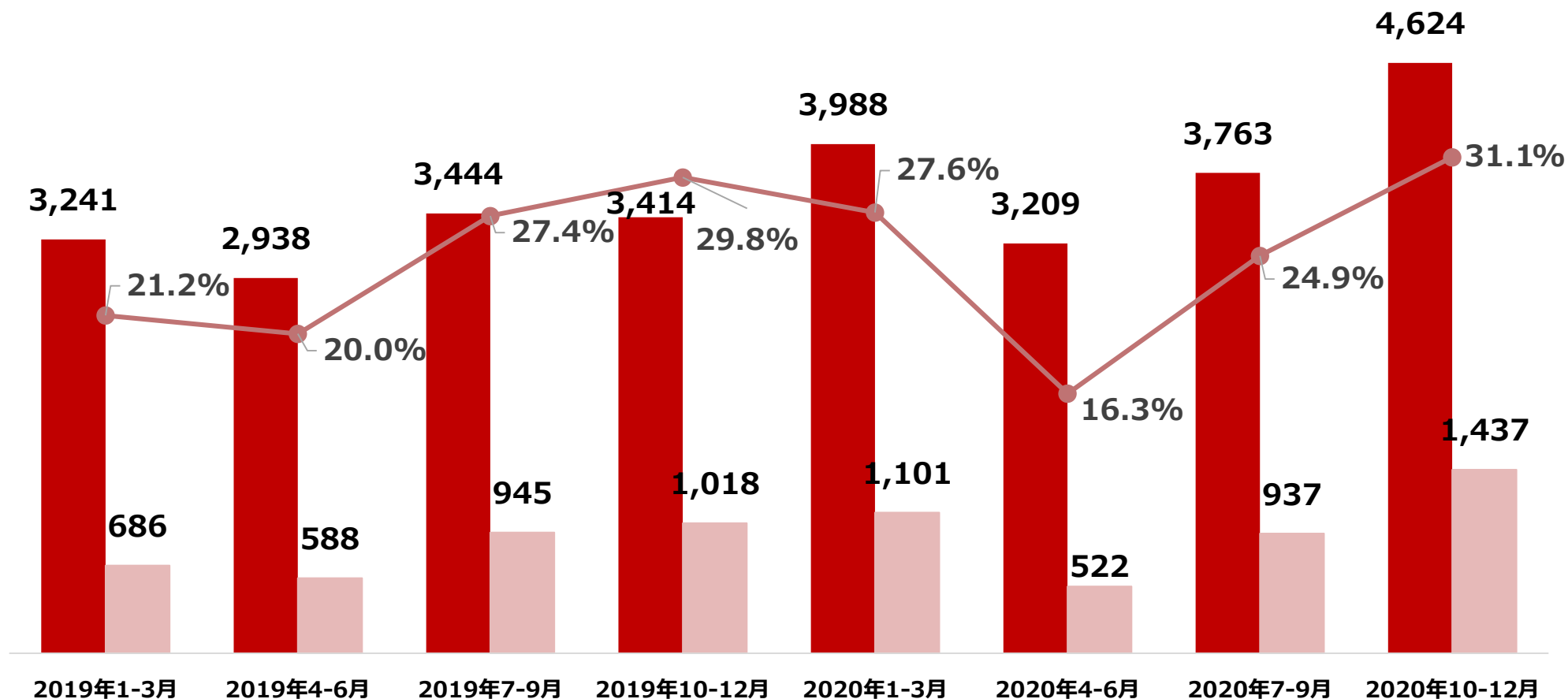
■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



四半期推移－ヘルスケアセグメント－医療情報

単位：百万円

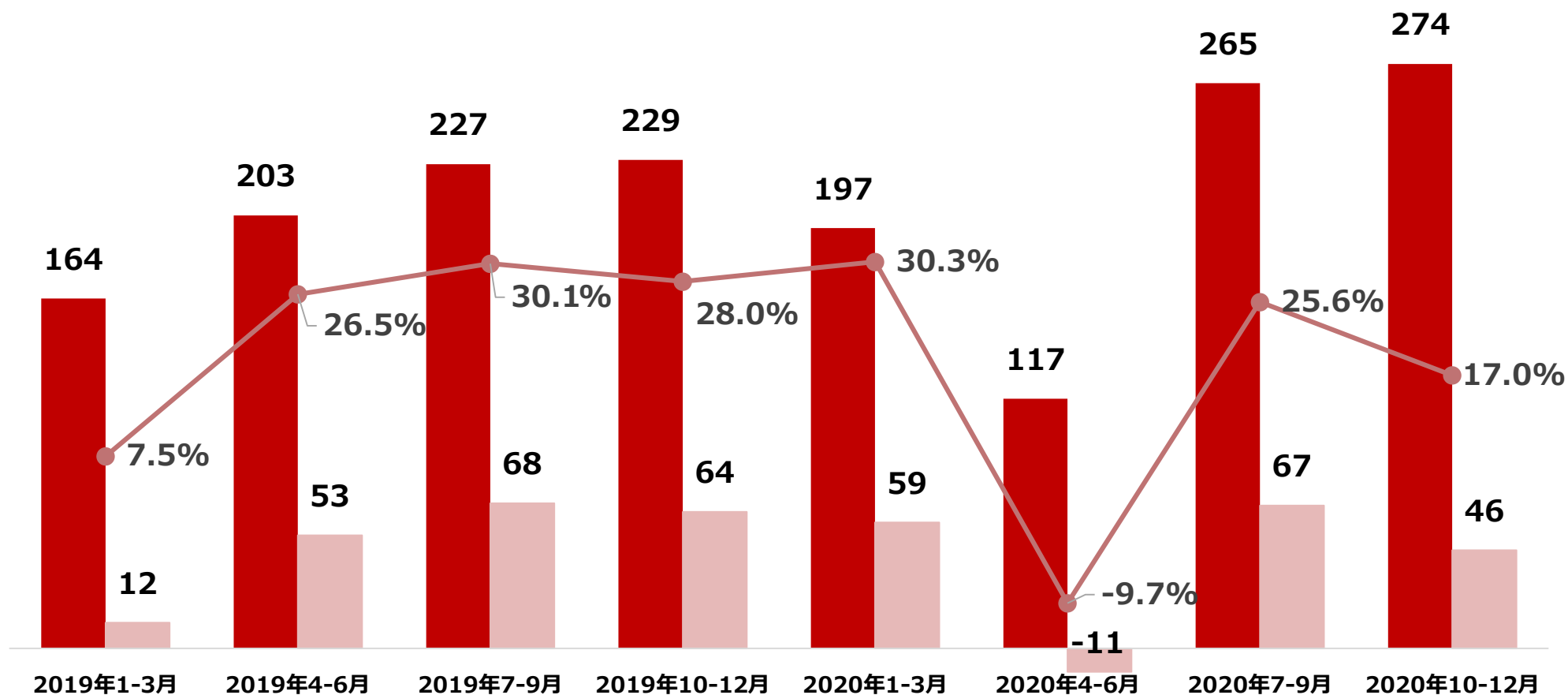
■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



四半期推移－ヘルスケアセグメント－医療検査

単位：百万円

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン



MANUFACTURING
ものづくり

● **PARTS/MATERIALS**
部品・材料

● **AUDIO EQUIPMENT/PERIPHERALS**
音響機器関連

HEALTHCARE
ヘルスケア

● **MEDICAL INFORMATION**
医療情報

● **MEDICAL TESTING**
医療検査

ものづくり-部品・材料

T E I B O W

テイボー株式会社

世界トップシェアのペン先事業を中心に、卓越した技術開発力でコスメ事業やMIM事業など新分野へ挑戦し、新たな市場を開拓する

・筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材等の製造・販売

ものづくり-音響機器関連

AlphaTheta

AlphaTheta株式会社

グローバルトップシェアを誇る「Pioneer DJ」で知られるブランドで革新的な商品・サービスを創造し、音楽文化の発展に努める

・DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

ヘルスケア-医療情報

J M D C



株式会社 J M D C

国内最大級の医療ビッグデータとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現、医療ビッグデータが持つ可能性を追求し新たな価値創造、社会へ還元

・ヘルスビッグデータ事業、遠隔医療事業、調剤薬局支援事業

ヘルスケア-医療検査

NKmedico

NKメディコ株式会社

脳梗塞・心筋梗塞のリスク検査「LOX-index®」をはじめとする様々な予防医療サービスを提供、日本発、予防医療のグローバルカンパニーを目指す

・予防医療事業、最先端医療の技術研究・開発事業

テイボー株式会社

ノーリツ鋼機グループの基盤事業であるものづくり事業セグメントの中核企業として、世界トップシェアのペン先事業を中心に、卓越した技術開発力でコスメ事業やMIM事業など新分野へ挑戦し、新たな市場を開拓する

社会的問題・ニーズ

- 日本が誇るものづくり技術の継承
- 中小・地方発のグローバル企業

会社概要

会社名： テイボー株式会社
 代表者： 代表取締役会長 高原建司
 資本金： 50百万円
 主要株主： ノーリツ鋼機株式会社（100%）
 事業内容： 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部品（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売
 グループ会社： 泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
 マーキングペン先部品の中国（江蘇州）における製造・販売拠点
 株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
 コスメ用ペン先部材の製造・販売

主な沿革

1896年 「帝国製帽株式会社」として創立
 1981年 「テイボー株式会社」に社名変更
 1993年 浜松テクノポリスに「都田技術センター」完成
 1994年 金属射出成形（MIM）による金属部品の製造販売開始
 1998年 都田技術センター内にMIM工場（新館）完成
 2008年 都田技術センター内にペン先研磨工場（南館）完成
 2012年 泰宝制筆材料（常熟）有限公司（中国江蘇省）設立により中国進出
 2015年 ノーリツ鋼機グループ入り
 2018年 都田技術センター内に「新技術棟NEXT」完成
 2019年 コスメブラシ穂首オートメーション製造メーカーのソリトンコーポレーションがグループ入り
 2020年 都田技術センター内にMIM新工場竣工

私たちが提供できる価値・サービス

- 長年培ってきた技術開発力であらゆる先端部品・部材及び極小部品を提供し、世界中のお客様メーカーのニーズに応える
- ニッチ市場における圧倒的なグローバルシェアで、日本の中小ものづくり企業市場におけるリーディングカンパニーであり続ける

主要事業



※中空の鋳物を作るための鋳型を成形する技術→中空（製品の内部が空洞となった形状）の金属部品を作る技術

AlphaTheta株式会社

「音楽で人をつなぐ」
創造力で音楽の可能性を広げ、よろこびに満ちあふれる世界を実現
グローバルトップシェアを誇る「Pioneer DJ」で知られるブランドで
革新的な商品・サービスを創造し、音楽文化の発展に努める

社会的問題・ニーズ

- 日本が誇るものづくり技術の継承
- 産業におけるアーティストの地位向上、アーティストの創作活動の保全

私たちが提供できる価値・サービス

- CDJに代表される世界初の商品を生み出してきた技術開発力と世界トップシェアのブランド力で、プロフェッショナルからコンシューマーまで幅広いニーズに対応し音楽文化の浸透創造を支援する
- 独自プラットフォームを中核に「人」「モノ」「コト」をつなぎ新たなコミュニケーションを通して新しい音楽表現、演奏スタイルを提案しアーティスト活動を支援する

会社概要

会社名： AlphaTheta株式会社（旧Pioneer DJ株式会社）
 代表者： 代表取締役社長 片岡芳徳
 資本金： 1億円（2019年12月31日現在）
 主要株主： ノーリツ鋼機株式会社
 事業内容： DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、
 ならびにそれらのサービスに関する事業
 販売子会社： AlphaTheta EMEA Limited
 AlphaTheta Music Americas, Inc.
 AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.

主な沿革

1994年 パイオニア株式会社の一事業として世界初のフラットトップ型DJプレーヤーCDJ500の発売
 1995年 世界初“BEAT EFFECT”を搭載した初代プロDJミキサーDJM-500を発売
 2012年 スマートフォン接続も可能にしたプロDJ向けマルチプレーヤーCDJ-2000NXSを発売
 2014年 クラブクオリティを追求したプロ用アナログターンテーブルPLX-1000を導入
 2015年 パイオニア株式会社より株式分割により事業独立。本社をパイオニア株式会社旧川崎本社に設置
 2015年 楽曲管理アプリケーション「rekordbox™」で独自開発したDJプレイ機能「rekordbox dj」を搭載したver.4.0にアップデート
 2015年 本社を神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番地5号の横浜アイマークプレイスに移転
 2016年 音楽プロデューサー/DJ/ライブパフォーマー向けに多彩な表現で直感的に音楽製作ができる「TORAIZ SP-16」を発売。楽曲製作市場へ本格参入
 2019年 横浜にDJスクールPioneer DJ横浜Labを開校
 2020年 「AlphaTheta株式会社」（アルファシータ）に社名変更
 2020年 ノーリツ鋼機グループ入り

主要事業

1994年より、CDJプレーヤー、DJミキサーを軸としたDJ機器を商品開発・設計・販売。



JMDCグループ

社会的問題・ニーズ

- 本格的な高齢化社会の到来
- 政府主導による“健康経営”の浸透
- 医療費の増加、介護負担の増加にともなう医療費の抑制
- 健康寿命の延伸

会社概要

会社名： 株式会社JMDC
 代表者： 代表取締役社長兼CEO 松島陽介
 資本金： 34億1,247万円(2019年12月15日現在)
 主要株主： ノーリツ鋼機株式会社
 事業内容： 医療統計データサービス

主な沿革

2002年1月 会社設立
 2003年12月 製薬会社向け医療DB Quick Analysis (QA) 販売開始
 2005年8月 製薬会社向け医療DB P-MarketBase (PMB) 販売開始
 2005年11月 製薬会社向け医療DB D-MarketBase (DMB) 販売開始
 2008年8月 製薬会社向け医療DB JMDC Data Mart (JDM) 販売開始
 2012年4月 保険者・事業主向け保健事業支援ツール「健助」販売開始
 2013年5月 ノーリツ鋼機グループ入り
 2015年6月 ヘルスデータ・プラットフォーム株式会社を子会社化
 2018年 株式会社ドクターネット、ユニケソフトウェアリサーチグループ、株式会社クリンタルを子会社化
 2019年12月 東京証券取引所マザーズ上場

主なグループ会社

株式会社ドクターネット
 株式会社ユニケソフトウェアリサーチ
 メディカルデータベース株式会社
 NSパートナーズ株式会社

「健康で豊かな人生をすべての人に」 データとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現 医療ビッグデータが持つ可能性を追求し新たな価値創造、社会へ還元

私たちが提供できる価値・サービス

- 健保組合等を通じて得たデータの第三者への提供・販売、個人向け健康情報プラットフォーム
- 遠隔画像診断サービスの提供
- 薬局向けレセコン・電子薬歴の開発・提供

ビジネス概要

ヘルスケアバリューチェーンのプレーヤーに対しさまざまなサービスを提供すべく準備を整えています。その取り組みの結果として得られたデータとノウハウが当社の強みを引き上げます

ビジネス運営主体	ビジネス概要	顧客	KPI	
ヘルスビッグデータ事業	データ利活用（2次利用） 健保や医療機関などの疫学データを匿名加工化し提供	製薬会社、生損保会社、研究機関、医療機器メーカーなど	・契約企業数 ・顧客1社あたりの年間取引額	
	生活者・保険者向け（1次利用） データ分析及び健保組合員向けのICT「PepUp」プログラムの提供	健保組合、自治体、事業主など	・母集団数 ・PepUp ID発行数 ・年間5000円以上のサービス利用者人数	
	メディカルデータベース	医療機関向け薬剤DBや医療機関の経営改善に資するデータ分析の提供	医療機関、薬局など	・契約施設数 ・データ獲得患者数
遠隔医療事業	ドクターネット	遠隔画像診断サービスの提供	医療機関、検診センターなど	・契約施設数 ・契約読影医数 ・施設当たり依頼数
調剤薬局支援事業	ユニケソフトウェアリサーチ	薬局向けレセコン・電子薬歴の開発・提供	調剤薬局など	・契約施設数 ・月額課金率



NKメディコ株式会社

脳梗塞・心筋梗塞のリスク検査「LOX-index®」をはじめとする
様々な予防医療サービスを提供
日本発、予防医療のグローバルカンパニーを目指す

社会的問題・ニーズ

- 本格的な高齢化社会の到来
- 政府主導による“健康経営”の浸透
- 少子高齢化に伴う医療・介護需要の拡大、医療費の増加、介護負担の増加

私たちが提供できる価値・サービス

- 疾病のリスク検査/早期発見検査
- 予防医療の普及による、より良い社会への貢献
- 医師のネットワークを活かした品質の高いサービス（検査）の提供

会社概要

会社名： NKメディコ株式会社
 代表者： 代表取締役社長 富永 朋
 資本金： 1億2,195万円（2019年3月期末）
 主要株主： ノーリツ鋼機株式会社（100%）
 事業内容： 予防医療事業、最先端医療の技術研究・開発事業
 従業員数： 正規社員21名、非正規社員6名（2019年3月期末）

主な沿革

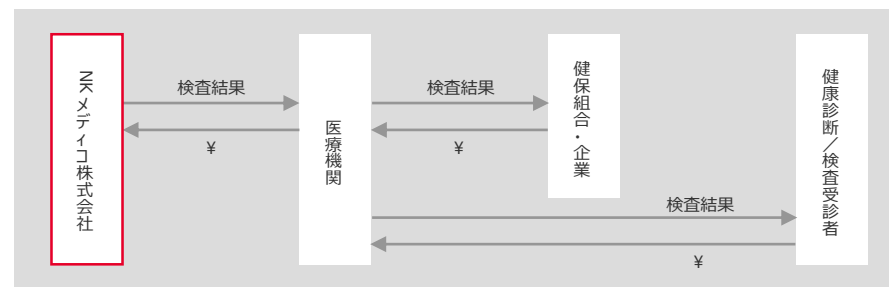
2010年7月 医療分野の事業開拓を行うNKメディコ株式会社をノーリツ鋼機100%子会社として設立
 2012年6月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の提供を開始
 2017年8月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の累計受診者数が10万人を突破
 2019年1月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の累計受診者数が20万人を突破
 2020年3月 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」の累計受診者数が30万人を突破

検査導入施設数推移



事業モデル

- 事業開始時からの強みである医師との太く広範なネットワークを活用し、医師・患者にとって安心できるサービスを提供。また、最先端医療技術シーズの事業化も支援



主要サービス

- LOX-index®
 - 脳梗塞（日本人の主要な死因の第3位）、心筋梗塞（同第2位）のリスク検査で、全国1,700施設以上が導入、累計30万人が受診（2020年2月末現在）
 - たった2mlの採血により、動脈硬化の原因物質を測定。既存の検査項目では判定が難しかった動脈硬化の初期段階から、プラークの進展、脳梗塞・心筋梗塞などの疾患の危険度まで、幅広くカバーできる検査項目を採用
- このほか、認知症スクリーニング検査、乳がんリスク検査、消化器がんのスクリーニング検査、慢性腎臓病のリスク検査、健康年齢®レポート、アンチエイジングドックなどの体質検査、腸内フローラ検査、遺伝子検査などを提供

LOX-index®
ロックス インデックス

本資料に記載されているいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。